

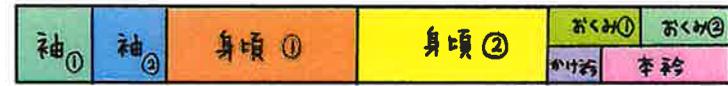
浴衣の着方教室

地元の中学校から依頼があり、浴衣の着方を教えることになりました。

以前ある居酒屋さんに頼まれて、アルバイトのスタッフ十数名に浴衣の着方を教えたことがあります。それぞれが3分程度で浴衣を着て半幅帯を結び、前掛けをして、たすき掛けをしてからお店に出るスタイルにしたいという依頼でした。教え終えたわたしは疲れ果てて、しばらくその場から動けなくなるほど。今回はそれが一日で3クラスです。生きて帰れるかしらと怯えつつ、スタートです！

まずは浴衣の仕組みからお話しました。1反は、約12m×36〜38cm。これを畳んでパーツごとに裁断して縫い合わせていくこと、仕立て直すことが前提の衣服であること、妖怪の一反木綿って実はめちゃくちゃ長いということ。衿合わせのことや、白い浴衣を着るときはインナーを着ないとパンツの柄まで見えてしまうこと、下駄が痛いときはサンダルでもいいということも話しました。

あとは実践です。Tシャツ&ハーフパンツ(ジャージ)の上から、女子は半幅帯、男子は角帯。帯は落ちなければOK!ということをしっかり伝え、実際に結べるようになってから浴衣の着方に移ります。それからもう一度帯を締めて完成。男子だけと女子の浴衣を体験してみたい子や、女子だけと男子の浴衣を体験してみたい子にも対応しました。「女



約12m



1反は約12m×36〜38cm

生地がいたんだら、裏返ししたり場所を変えたりして工夫しながら着続けられます。寸法直しもしやすいのが特長。

きものは男女共通!

洋服は男女どちらがいますが、

右手が入る!

小文字のV

左前はM

特に後ろは要チェック!



子の浴衣には脇に穴があいてるんだ!」身八つ口といいますが、そこから授乳したって説があるんだよ!」「すげえ。考えられてるんだなあ」男子との会話も楽しかったです。畳み方では「うわあ、すごい。畳むと本当にべったんこになるんだ」と驚く子がたくさんいて、反応が早いことに嬉しくなりました。最後は正座でご挨拶をして終了です。

教える会場は、放課後に剣道部と柔道部が使う場所で、全身が映る大きな鏡が設置されています。教頭先生が「冷房をガンガンに効かせておきましょう」と言ってくれたのもありがたかったです。

一番の問題は、全員分の浴衣と帯の用意でした。女子は持っている人が数名いますが、男子はほとんど持っていません。成長著しい中学生男子に、ピッタリサイズの浴衣を与えるのは大変ですものね。ところが、地元の子どものためにと寄付してくださる方や、快く貸してくださる団体があったり、さらにアシスタントを申し出てくださる着付け教室の先生方も現れて、本当にいい機会になりました。その日こそ疲れ果てて夕飯の支度も億劫でしたが、喉元過ぎたらなんとやらで、もうすでに次回が楽しみになっています。

きくちいま きものが身近にある暮らしを綴るエッセイスト兼イラストレーター。「きくちいまが伝えたい 40代からの新・着物生活(実業之日本社)」など著書多数 一九七三年生まれ 山形県在住。inapple.net